

緑園連合 News

2022年1月15日 Vol. 47

発行 緑園連合自治会

発行責任者 成田 俊人

編集責任者 貝沼 貞夫

◆◆ 会長 年頭のご挨拶 ◆◆

緑園連合自治会

会長 成田俊人

あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

一昨年よりコロナ禍において、私たちの生活様式もこれまでとは全く違うスタイルへと転換を余儀なくされました。連合自治会の諸行事もほとんど中止しております。

皆様の感染防止策の徹底とワクチン接種の拡がりにより、昨年11月末には感染は相当沈静化しました。しかし、オミクロン株の市中感染の拡大などで年末年始にかけ感染者数は激増しています。まだ当分の間は感染防止策の徹底を続けなければならないと思います。

ある占いの本では、寅年は「始まり」「新たに生まれる」年と書いてありました。

このような中で今年4月1日より、横浜市立義務教育学校『緑園学園』がスタートします。地域に中学校をと永年の悲願がようやく叶います。今後は、地域コミュニティの中核として地域を挙げて応援していきたいと思います。

同時に今年3月末には緑園西小学校が閉校となる予定です。その後利用も重要な課題と思います。第1種低層住居専用地域であり、用途は住宅、幼稚園、小・中・高等学校、図書館、診療所、保育園、老人ホーム、等々に限定されていますが、できるだけ地域の要望に添う形で提案していきたいと考えています。皆様には要望等がございましたら、自治会に提案して頂きたいと思います。

令和4年度下期には相鉄線の新横浜への延伸、東急線への乗り入れも予定されており、これらを契機として、地域が活性化することを期待しております。そのために連合自治会としては、諸団体と力を合わせて諸課題に対する取り組みを一層推進して行きたいと思います。

皆様には引き続きご支援を賜りたく、切にお願いいたします。

◆◆ 緑園地区社会福祉協議会会長 新年の抱負 ◆◆

つなかりの輪を広げ 支えあい・助け合うまち緑園

緑園地区社会福祉協議会 会長 菅野英夫

皆様、新年あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、緑園地区社会福祉協議会（以下緑園地区社協）の諸活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍の1年となり、各種活動が緊急事態宣言下中止に追い込まれ福祉活動も厳しい年となりました。その中に於いて第4期地域福祉保健計画のスタート年として、コロナ感染防止策を図りながら地道な活動を推進いたしました。

さて、緑園地区も団塊の世代が高齢化の時期を迎え、65歳以上の高齢者の割合は、第4期福祉保健計画の最終年度の令和7年には36.3%に、一方、14歳以下の子どもは8%に低下すると予想されています。このような状況下、地区社協では、「子どもと高齢者」「健康づくりと予防」「支え合いと助け合い」を中心として6つの活動目標を立て推進を図ります。全体的には、「つなかりの輪を広げ、支え合い・助け合うまち緑園」を基本理念として連合自治会・民生児童委員協議会、また行政・区社協・ケアプラザ等の各種団体と連携し具体的課題と施策に取り組みます。

コロナ禍が終息の後は、福祉ふれあい祭りやチャリティフェスティバル等の地域交流事業の復活推進を図ります。その結果は「広報委員会」が中心となって、ホームページや広報誌で皆様にお知らせ致します。

毎年、地域の皆様にご協力いただいています「賛助会費」につきましては、感謝申し上げますとともに、有意義に活用させていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆◆緑園義務教育学校特集◆◆ —令和4年度開校に向けて—連載「その5」

緑園義務教育学校は、本年（令和4年）4月に開校を迎えます。開校に向けて学校整備工事や標準服、PTA等のさまざまな項目について、開校準備が進められています。本号では連載「その5」として、開校準備委員会や整備工事の進捗状況についてお知らせ致します。

1 緑園義務教育学校開校準備委員会について

第6回緑園義務教育学校開校準備委員会が、去る11月15日（月）、緑園東小学校にて開催されました。以下、その概要についてお知らせ致します。（横浜市教育委員会事務局教育課程推進室資料より一部抜粋して引用）

（1）開校準備の進捗状況と開校説明会の開催報告

昨年10月28日（木）に緑園東小学校、29日（金）に緑園西小学校で、緑園学園開校説明会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集会説明会とあわせて、説明会の内容を動画で配信しました。

また、同様の理由から、当日の質疑応答をなくし、パソコンやスマートフォンから入力できるシステムを利用しました。

対象者は、①緑園東小・緑園西小の在校児童の保護者②岡津中・名瀬中1～2年生のうち緑園学園通学区域内の生徒の保護者です。来場者数は東小51名、西小は66名でした。

（2）地域ボランティア、部活動備品の寄付について協力要請

（本項については、「緑園だより」第4号をご参照願います。）

地域ボランティアとは、緑園学園の教育活動や教育環境の整備等について、地域・保護者の方々にボランティアとして支援いただくものです。様々な活動があり、専門的知識や技術が必要なものもありますが、誰にでもできるボランティア活動も多数あります。ご登録をお願いします。

（3）緑園学園学校運営協議会の新規設置に向けて（説明）

新たに設置する学校運営協議会について、その考え方について説明がありました。



会場の様子

2 緑園義務教育学校整備工事の進捗状況について

緑園東小学校副校長丹野一郎氏より寄稿いただきましたので、紹介させていただきます。

（1）工事の進捗状況

- ・既存校舎棟の外壁塗装や防水工事などの外部改修が仕上げをむかえ、今後は、床工事や家具の取り付けなどの内部改修に入っていきます。
- ・アリーナ棟および武道場は、外部の工事が仕上げをむかえ、足場が解体されました。外側からは、建物の様子がだいぶ見てとれるようになってきました。今後は、内部の工事に入っていきます。
- ・メイングラウンドの工事も順調に進み、ネットフェンスが設置されたり、花壇や外周部分に樹木が植えられたりしています。今後は、外周部分の整備工事を予定しています。

（2）子どもたちの様子

- ・緑園東小学校の子どもたちは、新校舎での生活にもすっかり慣れました。10月以降は、感染症の影響も弱まったため、引き続き感染症対策を講じながら、学習や行事など、ほぼ従来通りの教育活動を実施することができました。また、修学旅行や遠足などの校外学習も実施することができました。
- ・緑園東小学校として最後となる運動会も、サブグラウンドのみを使用した実施となりましたが、計画を工夫して無事に実施をすることができたとともに、保護者の皆様にもご覧いただくことができました。
- ・いよいよラスト3か月、今後は、これまで緑園東小学校に関わった方々に感謝の気持ちを表しながら、緑園東小学校の閉校に向けて、子どもたちと職員一丸となって諸活動を進めていきたいと思えます。

◆◆講演会・学校施設見学会 開催報告◆◆

1月27日（土）、緑園地区活性化委員会・同タスカル部会共催の講演会・学校施設見学会が、緑園東小学校体育館を会場として開催されました。約40名の参加者は、現在、東小学校が一時的に使用中の新校舎やサブグラウンドを見学した後、体育館に移動し、講演会にのぞみました。

講演では、「緑園義務教育学校緑園学園のこれから」と題して、横浜市教育委員会首席指導主事 野口弘之氏より説明をいただきました。



講演会の様子



時計塔



新校舎内を見学

◆◆緑園義務教育学校開校後の通学路及び見守り活動について◆◆

本年4月1日に緑園義務教育学校緑園学園開校により、児童が通う通学路が、現在の西小学校学区エリア中心に、大きな変更が生じることになります。中学生の場合は通学路の決まりはありませんが、緑園学園開校後には、約1,000名の児童生徒が在籍しますので、場所や時間によっては、多くの児童生徒が一か所に集中することが考えられます。

この点については、東小学区エリアも共通の課題です。

小学生が対象となる通学路については10月28・29日に保護者への説明を行い、正式決定されました。それにさきがけ、日頃児童の見守り活動をされている組織や地区の代表者が一堂に会して話し合う「通学路と見守り体制の検討会（第1回）」が、10月27日（水）、緑園東小学校にて開催されました。検討会では、新しい通学路案の紹介や各団体が日頃行っている見守り活動の紹介、問題点・課題の確認などが行われました。この会議には、東小、西小両校長に出席いただき、有意義な会議となりました。

○第一回通学路と見守り体制の検討会の概要について

開催日：10月27日（水）

会場：東小学校

出席者：

所 属	氏 名
緑園東小学校校長	副島
緑園西小学校校長	鈴木
子ども見守りプロジェクト代表	長谷川
同事務局	小島
緑園地区学校見守り隊代表（本会 幹事）	菅野
泉区交通安全緑園支部	石井
緑園地区防犯パトロール協議会	塩谷
名瀬地区学校見守り隊代表	三尾
新橋地区	大場
新橋堂山地区	千葉
岡津西部地区	大島
緑園4丁目東自治会防犯交通部	務台
緑園連合自治会防犯部長	松山
東花会見守り代表	鈴木（清）



会議の様子



主催者

次第：①通学路案の説明

②各団体活動報告

③問題点・課題の確認

<次回会議予定> 1月27日（木）15:00

～東小にて

緑園義務教育学校関連のさまざまな情報については、緑園連合自治会発行の資料や横浜市教育委員会のホームページ等もご覧願います。

◆◆「緑園街マルシェ」が開催されました◆◆

11月21日(日)11:00より、「緑園街マルシェ」が緑園都市駅前 相鉄ライフ前広場にて開催されました。主催は横浜市・相鉄グループ(相鉄いずみ野線 次代のまちづくり)、後援は緑園地区活性化委員会、協力はフェリス女学院大学、街カフェ実行委員会 地元有志による行事で、今年は、リアル開催となりました。

お店は、街マルシェが11店舗とワークショップ1店舗の他同時開催の「旅するマルシェ」7店舗が出店していました。

一方、ミニステージでは、司会役の「ステージMC 横浜ヨコハマ」さんによる軽快な司会で紹介された緑園なえば保育園、GENKIDS 緑園都市保育園、小学館アカデミーりょくえんとし保育園、緑園東小学校、緑園西小学校・緑園キッズクラブ、岡津中学校、横浜緑園高等学校、フェリス女学院大学など、保育園から大学まで、多くの園児、児童、生徒、学生の皆さんが、合唱や楽器演奏、ダンスなどの演技をされ、大いに盛り上がっていました。

昨年は、新型コロナ感染を避けるため「緑園街マルシェオンライン」での開催となりましたが、今年は、リアル開催となり、天候にも恵まれたことも味方し、多くのお客さんが来場、各店舗での買い物やワークショップでの体験、ミニステージ観賞など楽しんでおられました。

今回、泉区役所では、特別ブースを設営し、横浜市による「空き家等の適切な管理に関する、条例による義務化」などの情報や、泉区のさまざまな政策情報についてPRしていました。区長の深川敦子氏も視察にこられました。(右写真)



◆◆ 緑園バス運行推進協議会より講演会報告 ◆◆

11月15日(月)、緑園バス運行推進協議会主催 講演会を東の街コミュニティセンターにて開催しました。講師として横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院特任准教授 有吉 亮氏をお招きし、「人々の移動のしやすさと地域の持続可能性」～大都市郊外での実践研究から学ぶ～と題して講演いただきました。

その中で、地元企業発意の地域交通システム 郊外住宅地の小さな公共交通「とみおかーと」の紹介があり、講演の後、緑園都市の現状に照らしての住民の移送手段の在り方について、情報交換を行いました。当日は、大学より4名の学生の皆さんも出席。横浜市道路局企画課や泉区区政推進課の職員諸氏のほか横浜市コーディネーター 山路清貴氏に出席いただきました。

<令和3年度 緑園連合自治会行事予定についてお知らせ>

行事名	月日	主催	場所	備考
(略)				
⑤緑園地区一斉清掃	12月12日(日)	連合自治会 /RCA	緑園全域	駅西口での 集会中止
⑥年末特別パトロール	12月14日(火)	連合自治会	緑園全域	中止
⑦新年祝賀会	1月8日(土)	連合自治会	地域交流センター	中止
⑧新春マラソン大会	2月5日(土)	連合自治会 /RCA	東小・同周辺	中止

編集後記

コロナとの戦いは続いていますが、社会経済の立て直しも併せて進めていかなければなりません。報道によれば横浜市の3回目のワクチン接種は2月から始まるとのことです。義務教育学校もいよいよ開校です。引き続き、住民の皆様の知恵と工夫で緑園地区を盛り上げていきましょう。ご協力をよろしくお願い致します。

【編集委員】貝沼貞夫、長谷川幹夫、田谷善宏、飯塚智明、鈴木英範、森田伸一